

読書のすすめ

三年 T・M・

みなさんは今までに何冊の本を読んだことがありますか？ 最近僕は百冊を超えました。よく読むジャンルは文学・小説です。

しかし、最近の中学生はあまり本を読んでいないようです。実際に、中学生の読書率の全国平均は六四・九パーセントで、小学生読書率の八〇パーセントより低いそうです。これらのことから僕はみなさんにもっと本を読んでほしいと思いました。

本には様々なジャンルがあります。マンガや小説、雑誌など、たくさんあります。これ

らの中で僕が一番おすすめしたいのは小説です。その理由は、様々なメリットがあるからです。

僕は小説を読むようになってから、国語力が身に付きました。たくさん作品にふれることで、語いの数が増えれば言葉の意味を理解でき、小説もよりおもしろくなります。良い循環になります。

さらに歴史の本を読むことによって歴史の勉強もできると思えます。他にも哲学や科学などの本にもふれることができるし、テレビに出ている人やスポーツで活躍している人たちの考えも知ることができます。人生の成功者の意見はとても斬新

で役に立つものばかりです。

例えば、僕が役立った文章は野村監督の「長所を伸ばすより、短所を直す。」です。

この言葉は特に勉強面で役に立ちました。僕は数学が苦手でした。だから数学を少し集中して勉強しなければならぬのですが、苦手ということもあり、やる気が出なくて困っていました。

そんな時、この言葉に出会いました。この言葉に影響を受け、短所を直すために苦しい数学を精一杯勉強しました。その結果、テストの点を上げることができました。いろいろな人の主張を読むことができるので勉強にな

ります。

さて、本を読むことは大切だと、よく言われます。しかしそう言われてもいまいちピンとこない、本当にメリットがあるのだろうか。読み終わって、僕も主人公のように勇気を持って友達に謝りました。その時は本当に不安でいっぱいでしたが、友達は許してくれました。この本との出会いによって友達との関係も回復することができました。

このように読書は悩みを解決したり、自分の考えを一気に広げたりすることができます。だからみなさんいろいろな本を手にとってみてください。きっと自分に合う一冊が

見つかると思います。

また最近では、マンガで学ぶ歴史や英語など、簡単なものも増えてきています。自分に合う本を見つけて、読書の楽しさに気づいてほしいと思います。

こんなにいいことがある読書をしないのはとてももったいないです。読書が苦手という人も、まずは何でも始めてみるということが大切です。みなさんも試しに一冊読んでみてください。きっといい本が見つかると思います。